

ホームスクーラーの 勉強ワクワク大作戦！

今年は、チアの歩みにおいて、一つの励ましの柱が伸びる年かなとも思っています。「より効果的に、勤勉に、親子で勉強に取り組める！ホームスクーラーの勉強ワクワク大作戦！」です。現在、チア・サポートスクール(CSS)で、新たな方式を取り入れて受験等へのサポートに取り組んでいます、良い傾向が表れてきています。

CSSの目的は、在校する家族へのサポートのみならず、次世代や全国の皆さんの先達となり、貢献することにあります。勉強面からも、役立つ情報発信になると思ひ、少し分かち合いますね。結論としては、チアが設立されて17年、神様の助けと憐みの中で、基本的には、着実に良き実が結ばれていて、心配することなく、努力を重ねていくと良いと思う一方、さらに強化できる面もあり、環境整備の一環として、今回与えられた情報を分かち合いたいと思います。

CSS 震災ボランティア世代が卒業し、 第二世代へ

CSSがスタートして5年、振り返りますと、2年越しでの東日本大震災のボランティア活動を始め、各企画におけるLITほか、霊的・人格的な成長の貴重な機会に、大変恵まれたと思います。そのボランティア体験世代は、2名を残し、皆、卒業し、今は、ボランティア体験を知らない世代がほとんどです。

時を経てみると、霊的・人格的成長の良き面がある一方、学習面ではサポート不足も見え、特に受験に導かれている子どもたちへのサポートに力を入れる必要が示されてきました。

ホームスクーラーの良い傾向として、親に愛されていることが、親の犠牲によって伝わり、子どもたちが明るく、素直で、前向きで、安定



「ワクワク大作戦！勉強合宿 - 長時間、集中勉強により限界に挑戦!! (中高生向け・2泊3日、5月連休中に初開催)」

している点があります。信仰的にも、深い洞察やキリストとの絆を持った子どもたちが多いです。セルフイメージも高いです。それは素晴らしいし、今後も大事にしたいですが、特に学業に関しては、根拠なき自信を持っている子や、のんびりしている傾向が見える子もいます。これもいたずらに、受験偏重や偏差値教育で追い立てたり、落胆させたり、歪めていない、素晴らしい賜物です。

しかし、一方で、なすべき「努力や勉強」の不足につながる場合もあるため、謙虚に実力を知り、そこから目標を目指し、落ち込むことなく、素直に、前向きに弱点を強化していけたらと思います。

時間が豊かに与えられているため、「喜び学習法」で、好きな分野では、プロ顔負けのような知識や技術を伸ばしている子どもも見られます。その一方、数学等、限られた時間内で解くといった訓練ができていないケースも目立ちました。また、これは、学校に行っている子どもたちにも言えることと思いますが、基礎力の徹底した反復に時間を十分かけていないために、中高生段階で、力を伸ばしきれていないケースも見られました。

そうした結果、人格的・信仰的基礎力が順調に育っている一方で、学術面では、それに見合った力を出し切れず、もったいない状況が見られ



CSS 新コーチングスタッフの伊澤聡一郎さん – 「ワクワク大作戦！勉強合宿」にて

るケースもあります。伝道・世界宣教というゴールを目指しているのです、別に、難関大学に進むかどうかはポイントではありません。「イエスと一緒にいた者」（使徒4：13）かどうかポイントであり、「神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選ばれました。…それは、だれ一人、神の前で誇ることがないようにするためです」（第1コリント1：27、29）ということが真理です。

ただ、この真理は、学ぶことへの励ましや努力を否定するものではありません。勉強面でのサポートをすることで、子どもたちがあらゆる面で努力し、達成する体験を深め、将来の引き出しを増やし、親たちのホームスクーリングへの恐れや不安等が解消され、さらに豊かな実を結んでいくのであれば、素晴らしいのでは、と示されています。

そこで、昨年末から、堀井卓校長らと強化策を求めていきました。ちょうど国会の法案関係で、この1年余り、親しく交わっていたホームスクーラーの伊澤聡一郎さん・恵美さん夫妻との絆も深まり、CSS やホームスクーラーの隠れていた課題について、率直な声をあげてくださいました。その課題点を他の4人の保護者に取材してみると、異口同音に共通する課題が浮かんできました。

それで、堀井卓校長、伊澤さんと共に、受験に向けての学習法について研究を重ねていく中で、この点を強化していったら、CSS はもちろん、全国のホームスクーラーの課題の克服ともなり、不安や恐れなく勉強にも立ち向かえる！という具体的なアクションプランになるのでは…との基本プランが与えられていきました。

親子の課題

4月に保護者会を持ち、約3時間30分、これまでの反省点の詳細をストレートに伝え、お詫びし、そして、新しいアクションプランを分かち合いました。

保護者会で話した第一の反省点は、代表者である私の監督不行き届きのお詫びです。学業面では、中高生は、著名な難関大卒のベテランの先生に任せきりになっていて、教師の姿勢等、様々な矯正すべき点がありましたが、マネージメントが行き届いていませんでした。今回、その先生やマネージメントチームとはストレートに話し合い、そこは改善の方向に向かっています。

次に具体的なCSS親子の課題です（特に中高生。小学生は、基本的にはどの教育書を読んでも、読み書きそろばん（四則計算力）の基礎力がしっかりできることが目標ということで、これまでチア・

コンベンション等で薦められてきたことと同じです（チアの場合は、さらに英語・体育・音楽を励ましてきました）。心配せずに、これまでの方向性そのまま、さらにその徹底を進めればと感じています）。

①中高生の親が、子どもたちが何を学んでいるのか見えていない。CSS任せになり、親が寄り添えるという、ホームスクーリングの強みが活かされれば、もっと飛躍できるのに、できていない。

②小学校レベルの基礎力が弱い。基礎力問題集を一度済ませただけで安心せず、5回、10回やって、二度と間違わないレベルまで復習する必要あり。「わかった」というレベルでなく、「間違いなく、確実にできる」ところまで、家庭でも徹底する必要あり。後述しますが、基礎力の充実と復習の大切さはCSS生だけでなく、日本の子どもたち全般に指摘されている点で、多くの勉強対策本でも秘訣として書かれ、また、先日の衆議院文部科学委員会でも、その必要と成功例が取り上げられていました。

③ホームスクーラーは時間制限がなく、のびのびしているが、計算問題ほか、時間内に行うことが苦手。あるいは、そのコンセプトや訓練の絶対量が不足している。

④計画性を持って行おうと思うが、継続できずに焦る。

⑤中高生を教えるのは、自分には無理なのではという恐れ・不安が生まれる。場合によっては、不安のため、中学、高校に入れることも考え、揺れる。

⑥予備校に行けば何とかかなるとの予備校神話がある。予備校のメリットを受けたケースもある。しかし、基礎力が弱いまま、また、自走できず、教師依存のままCSSを退き、予備校に行き、予備校に高い学費を納めたものの、苦しみ、志望校に行けないケースも複数生まれた。神様や親との関係にマイナスの影響を与えるリスクもある。

⑦親も子も不安になり、家計を支えなくてはならないなど特別な事情がないのに、18歳以下の子どもたちの中で、アルバイト等に時間と労力を費やし、学習の時間やエネルギーを失っていくケースもある（これはCSS生ではなく、全国のホームスクーラーの事例。経済事情ほか、様々なケースもあるので、一律に、18歳以下はアルバイト禁止とか、そのようなことではないので誤解ありませんように（^^）。私自身、学生時代、



CSS新コーチングスタッフの伊澤恵美さん「ワクワク大作戦！勉強合宿」にて

25種類以上のアルバイトをし、とても良い社会勉強になり、アルバイトは良き社会勉強でもあると思っています。ただ18歳以下の場合、将来に備えるべき大切な時期であり、焦ってアルバイトをする必要はないと考えます。一方、経済的必要ほか、それぞれ事情もあると思いますので、そこも理解し、尊重します)。

こうした課題が見つかったことは良いことで、既に50%、解決を見つけたともいえます。この課題を強化できれば、すでに様々な良い実を結んでいる

る、キリストにあるホームスクーラーたちが、さらに努力と神様の恵みの中で、学業においても良き自信を持ち、強められ、福音を伝えていく弟子として、大きく飛躍していくと思われるからです。

逆に全国のホームスクーラーを見ていて、良く育っている共通項として以下の点があげられます。この良い点を伸ばすところに、上記の課題の解決・強化へのヒントが隠されていると思います。

- (1) 神様・親との強い絆が育まれている
- (2) 素直
- (3) のびのびし、比較的、心が安定し、明るい
- (4) 聖書・善悪を基準にした判断力・吟味力・洞察力がある
- (5) 親が子どもの罪・自己中心等に、感情的ではなく、聖書的なしつけ、懲らしめ等をしてきた場合、子どもに従順さ、正直、喜び、希望等が溢れ、前向きである
- (6) 忍耐の心、努力する心、粘り強く真面目で忠実な心の基本が育まれている
- (7) 神と他者を愛し、敬い、伝道する心が与えられている

個々人の差があるにせよ、これらの土台が共通して見られます(もし今、見られなくても、焦ることがありませんように。聖書に「全てに時がある」とあります。聖書的な姿勢で子どもたちに直面し、しつけ続けていければ必ず、実は結ばれていきます)。

親が本腰で取り組み、様々な課題に直面し、払っ



てきた犠牲は、無駄にならず、主の憐みの中で、着実に実を結んでいると思います。もちろん、完璧はありえないし、長い人生の中で、全員、いろいろと失敗もするでしょう。でも、神様の赦しと恵みと憐みの中で、そこから成長していく、また成長を目指す、素直な心と信仰に支えられた強い姿勢が全国のホームスクーラーの中に見えることは、本当に励まします。この良き土台をベースに、それぞれに合った課題克服の良き方法が与えられれば、子どもたちは伸びていくでしょう。

ここでちょっと、前提の確認です。今回、新しく、これまでは、それぞれのご決断を尊重してきたトピックである「勉強」について取り上げますが、大前提として、これまでのチアの強い目的に変更はないことをお伝えします。また、何か、一つの学習法を強く推薦しようということではありません。一つのたたき台を提供し、さらに充実したホームスクーリング展開を自由に進めていただくための環境整備の一環です。それぞれの皆さんに合った方法を自由に、カスタマイズしていただければとの願いで、情報提供を進めますね。

再確認しますと、チアの3つの強い目的、「魂の救い」「キリストの弟子のこころを与える」「伝道・世界宣教」は変わりません。神様はこの世の地位や名声に基づいて、伝道・世界宣教を進めるのではなく、どこの大学を出たとか、出ないとかは、問題ではありません。難関大学への進学が、本論の目的でもゴールでもありません。大事なポイントは、「勉強」という営みを通して、努力や勤勉さ、やればできるとの体験を重ねることで、



堀井卓 CSS 校長 - 「ワクワク大作戦！勉強合宿」にて

上記の3つの目的を、さらに強化することができる、そのための学習プランの一例ということです。神の助けを求めながら、親子で取り組める（個別指導）というホームスクーラーの強みを活かした、学習面でのサポートのための一つの『たたき台』を提供できればと思っています。

前号でチア・ジョイランニングでのメダル獲得作戦で、大人も子どもも楽しさを体験し、自信を得て、体力作りに一層励む意欲が生まれていった旨を報告しました。今回は、その「勉強」版だと受け止めてくだされば感謝です。

今回、評判が良いものに心を傾けよということで、約40冊の教育・受験関係の書籍を読んで研究してみました。「勉強・受験」というものを特別視せず、「自動車免許」「スポーツ」「楽器」といった、何か、技術を学んで取り組むべきものという姿勢で、「コツ」や「対策」を学んでみようと思いました。この3年、マラソン関係の本を40冊ぐらい読みながら練習したら、3年前、1キロでゼイゼイしていたのが、今は、フルマラソンは完走当たり前で、あとは時間をどう縮めるかというステージに到達した体験も用いられました。

結論としては、勉強というものも、聖書が教えるホームスクーリングと基本原則は同じで、「プロ信仰ではなく、親が寄り添って教えたらベスト」

と多数書かれてあり、興味深かったです。実際、これまでチア・コンベンションや白馬セミナー等で分かち合われてきたことと、重なることがたくさんありました。

学校・予備校任せはダメで、親の協力・コミットメントが必要、親が真剣に取り組むと反抗期がない、小学校までは読み書きそろばんで良い、基礎力が大事、受験は技術の問題で簡単、誰でも努力すればできる、予備校神話を捨てる、問題集をやって安心ではなく実力がつくまで復習が大事（よく教え込むことが大事。聖書も一度読んだからと言ってそれが実力にはなっていない）、目的を明確に！——ほか、たくさん重なります。著者の皆さんも、神様を信じることができるようにと祈りながら読んでいます。

親にも子どもたちにも一読を推薦したいのは、マンガ『和田式逆転の受験勉強法』です。精神科医で、受験研究家の和田秀樹氏のたくさんの著書のエッセンスをまとめたマンガです。一言でいえば、「受験」というのは、秀才や、小さい頃から受験まっしぐらの子どもだけが合格するものではなく、誰でもコツをつかんで、ある程度の期間の準備を実行できれば、東大でもどこでも受かるとの趣旨で書かれています。マンガでさらっと読めば、全科目の勉強のコツの全体像がわかり、「恐

れないで大丈夫！」と自信がつくので、お薦めです。

具体的に、数学は、四則計算がしっかり、スピーディーにできれば、あとは、基本的に一つの単元で解法を50題暗記すれば大丈夫、スポーツのように反射神経を鍛えていけば、暗記物として取り組める——等、勉強法のコツも書かれています。さらには、「数学は暗記だ!」「和田式高2からの受験術」等、個別に専門的に読んでいけば、準備の仕方がよくわかるステップになっています。

続いての推薦書は、『自分からどんどん勉強する子になる方法』。著者、杉渕鐵良さんは、小学校の先生で、一人も落ちこぼれさせないをモットーに、1000人の子どもたちを担当し、「勉強嫌いの子でもたった2週間で学習習慣がつく!」という趣旨で、具体案が書かれています。親の関わりが何より大事で、「勉強しなさい」ではなく、「一緒にやろう!」の一言で子どもが変わると提唱します。即ち、ホームスクーリングですね。まとまった30分より、集中力が続く5分間隔で科目を変更、場合によっては、一日1分だけから始めよう!と鼓舞します。

昨年、ある分科会で、元学校の先生だったホームスクーラーの方が、小学校中学年の子ども2人の勉強について、「我が家は一日1時間で勉強を終えます」とおっしゃってましたが、そのことを思い出しました。「基礎学力が大事」「6年生も1年生に戻って」「反復が大事」等、受験本の王道のようなポイントを書いています。

3つの改善策

そうした中で、具体的な課題の改善点を考え、CSSで実行し、良い効果が出始めています。たたき台として、3点、提示します(詳細内容は15、16ページ)。

①天国・未来からの挑戦! 今季・今月・今週・今日、何をすべきか、ロードマップ作り

②今の実力を知るチェックテストの必要性

③基礎力重視の学習法のヒント提供と勉強サポート(小学生は聖書・漢字/読書・四則計算・英語(GS)で徹底的に基礎固め! 中高生は聖書・伝道・英語(多読)・数学(体系数学)等、取り組み例の紹介)

ポイントは、中高生の「勉強」は恐れる必要なく、ますます確信をもって、ホームスクーリング展開ができますよということです。CSSもまだトライアルの段階ですが、もし神様に導かれ、国公立や難関私立を希望する場合、神様の助けの中で、親子中心でしっかり走ってくだされば(あるいは、必要があってCSSも併走できれば)、基本的には大丈夫。でも医学部ほか超難関コースは、まだ実績ないので、別な方法も検討されつつ、でもCSSの利点が当てはまるということであれば、サポートしますという感じで、考えています。

詳細は、コンベンションでの分科会「より効果

的に、勤勉に、親子で勉強に取り組める! ホームスクーラーの勉強ワクワク大作戦」の1と2(稲葉・堀井・伊澤夫妻)、また「わが家流 GrapeSEED 活用法」(伊澤夫妻)でお分かちしたいと思っています。まだトライアル段階であり、どうぞ、自由にご意見、サジェスチョンをいただければ幸いです。3つの強い目的を目指すワクワク大作戦です。よろしくお願ひします。

5月、CSSで試験的に行った「ワクワク勉強合宿 — 長時間、集



中勉強により限界に挑戦!! (中高生向け・2泊3日)」は大好評で、9月22日(木・祝)～24日(土)には、全国のチア小中高生向けの企画に拡大して、第二弾の勉強合宿も計画されています(東京・オリンピックセンターにて)。詳細決定次第、コンベンション会場、HP等にてご案内しますので、ご期待ください。